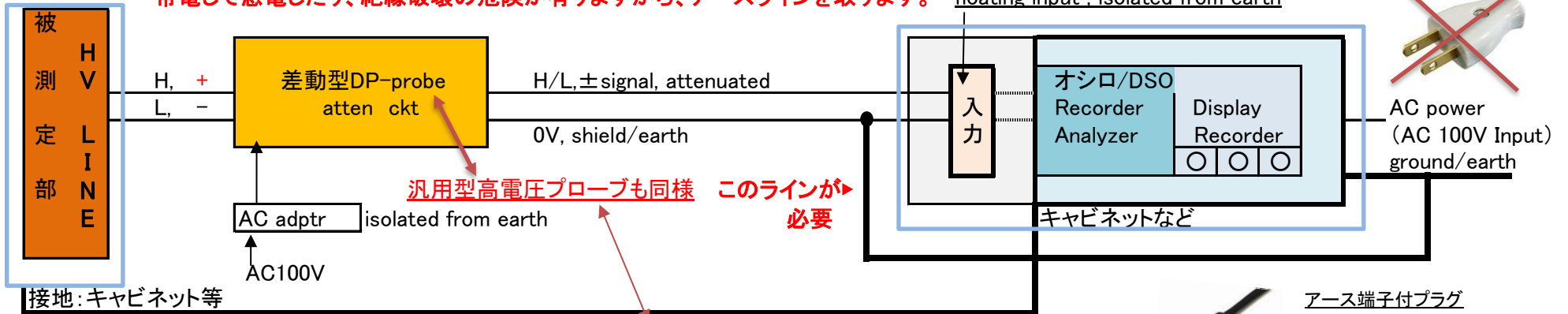


**プローブと絶縁型/フローティング型入力 of 計測器とのつなぎ方**

当店のDPプローブは計測器の入力BNCコネクタ(外側部の導体が)がアースされた条件を元に設計されています。通常のオシロ入力ではアースが自動的に\*に取れます。\*AC電源接続の3ピンのGND線がアースに繋がっている場合です。絶縁・フローティング入力の場合は自動的にアースが取れず、機器に高圧が帯電して感電したり、絶縁破壊の危険がありますから、アースラインを取ります。



接地: キャビネット等

最大耐圧電圧40KV 差動プローブ発売 @2017

500:1&5000:1 2 range  
DC~20Mhz 100MΩ入力  
DC+ACpp: 40KVpp (+/-20kV)  
ACrms: 14KV



ktek ケイテック  
www.ktek.jp

DPプローブにはGND  
リード/ワイヤを付ける  
ように進言しています



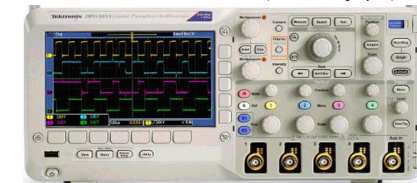
計測器の入力は、BNC型、バナナ型入力が一般的。  
差動型プローブの出力はBNCケーブルが一般的です。  
BNCコネクタにアダプタを付けて、アース線を付け、接地します。  
バナナプラグ端子はGND側にアース線を付け、接地します。  
計測器のGND端子やキャビネットなど金属部へ繋がります。  
(いずれも、アースが取れている必要あり。右上の様なAC接続プラグがアースされていない場合も多く有り危険です)  
**高電圧計測時は、測定者を守る為にも、外乱ノイズ除去のためにも、アースを必ず取ります。**



アース端子付プラグ

接地/アース

**アースを確実に取ります**  
↓ACプラグアース端子付



BNC-BNC cable, アース付き  
PP338 COP用3m Cable

BNC-banana-gnd-adptr

BNC+Gndリード付アダプタ



入力フローティング仕様等の時アースを取る場合に有効です

Pomona Electro



↑絶縁型入力

絶縁になりやすい

